

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第1回 池田市男女共同参画審議会
日 時	令和6年6月27日（木） 開会 午前10時 ・ 閉会 午前10時45分
場 所	池田市役所7階大会議室
出 席 者	《審議会委員》 有澤委員、山本委員、藤田委員、谷田委員、西村委員、山崎委員、佐藤委員、北村委員、禧久委員 <事務局> 樽谷次長、金主幹、吉川主幹、瀬川主事
欠 席 者	金井塚委員、篠田委員、徳田委員、奥村委員、松本委員、荒木委員
会 長	有澤委員
議 題	1. 令和5年度男女共同参画事業報告について 2. 令和6年度男女共同参画事業計画について 3. 委員会・審議会への女性の参画状況について 4. 計画策定検討部会について
配 布 資 料	①次第 ②審議会委員名簿 ③池田市男女共同参画審議会（冊子）
傍 聴 者	なし
問合せ先	池田市 市民活動部 人権・文化国際課 072-752-1111 内線 259 072-754-6231（ダイヤルイン） mail:j-bunka@city.ikeda.osaka.jp

議 事 経 過

1. 開 会

(事務局)

予定の時間がまいりましたので、ただ今より、令和6年度第1回池田市男女共同参画審議会を開催させていただきます。本日は、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

委員の委嘱換えについて、ご連絡いたします。連合大阪豊能地区協議会からの代表者が4月1日付で入江議員から山崎委員にかわられましたので、皆様よろしく願いいたします。また、本日ご欠席されておりますが、池田公共職業安定所の所長の人事異動により、根本委員から奥村委員にかわられました。その他、徳田委員、篠田委員、荒木委員より所用のためご欠席のご連絡をいただいております。

それでは、これからの進行は会長にお願いさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(会長)

おはようございます。今日は雨が降らないそうですが、毎日雨が降って、土日が猛暑になる、天候が悪い日が続いています。皆様、お体大丈夫でしょうか。夜も温度が上がっており、エアコンのお世話になる日々です。この時期は体力で乗り切るしかないので、お体に十分気をつけてください。今日は朝早くからお集まりいただき、ありがとうございます。男女共同参画審議会の議事を進めていきます。よろしくお願いいたします。

2. 議題

(会長)

それでは、①令和5年度男女共同参画事業報告と②令和6年度男女共同参画事業計画について事務局より説明してください。

(事務局)

それでは、議事に沿って①令和5年度男女共同参画事業についてご報告致します。最初に、報告資料の見方ですが、例えば1ページ下の方のDV対応情報ネットワーク会議の見出しの下のカッコ書きをご覧ください。このように、先頭に○がついた太字の項目の下に行に、カッコ書きの記載があるものにつきまして、第2次男女共同参画推進計画の4つの柱の中のどの体系に基づいて実施しているかを記載しています。参考として、20・21ページに計画の体系を掲載しておりますのでご参照ください。

それでは、令和5年度の事業報告に入ります。1ページをご覧ください。会議関係では、男女共同参画推進本部会議を昨年6月1日、市の政策会議終了後に開催しました。

男女共同参画審議会は、第1回を7月5日、第2回を9月7日、第3回を2月13日に開催し、主に市民意識調査についてご審議いただきました。「オーブ・池田賞」については、応募がなかったため、選考委員会の開催はありませんでした。また、本年3月には、DV対応情報ネットワーク会議を開催し、市関係部局及び女性相談センター、子ども家庭センター、池田警察他関係機関とDV対応状況についての意見交換を行いました。苦情処理委員会は審議事案がありませんでしたので、未開催でした。

次に、啓発事業関係では、「男女共同参画週間」「女性に対する暴力をなくす運動」のそれぞれの啓発週間時にパネル展示を行い、関係資料の配布を行いました。そして、男女共同参画市民セミナーを2回開催しました。1回目のセミナーにつきましては、題名を「女らしくなく 男らしくなく 自分らしく！」と題し、性別にかかわらず自分らしく生きることをテーマに文化会館にて開催しました。108名の方が参加されました。2回目につきましては、「パパカフェ」を開催し、参加者同士で体験談や悩みを共有し、父親同士のネットワークづくりを図りました。定員5名で4名の方が参加されました。

また、ダイバーシティセンター啓発事業として、「女性のための元気アップ講座」や「定年を迎える男性のための講座」など、多数のセミナーを開催しました。その他の内容・参加者数につきましては、記載のとおりです。

次に毎年発行しております啓発パンフレットですが、『考えよう！ふたりの家事シェア』を発行し、市内公共施設などに配布いたしました。こちらは昨年度に委員の皆様にお送りさせていただいたものになります。

次に、DV被害者支援関係では、人権・文化国際課におけるDV相談が96件で、緊急一時保護・一時避難はございませんでした。4・5ページの「女性のための相談事業」につきまして、ダイバーシティセンターにて女性相談を実施し、様々な課題に対する相談に対応し、延べ119件の相談がありました。

続きまして、令和6年度の事業計画について、6～8ページをご参照ください。主なものとしては、市民セミナーの開催、啓発パンフレットの発行のほか、引き続き、DV被害者支援、ダイバーシティセンターにて女性相談を実施します。今年度は第3次池田市男女共同参画推進計画を策定するため、審議会とは別に、委員の方々のうち4名で構成する計画策定検討部会を3回開催する予定です。こちらについては、のちほどご説明いたします。また、昨年度の審議会で審議いただきましたとおり、オーブ・池田賞は一時的に休止といたします。かわりに、啓発事業の部分でご説明します本市の人材育成事業の受講者のなかから、ダイバーシティ社会の推進につながるチャレンジ計画を策定した方の中から、審査により2名の方にチャレンジ支援金5万円を交付し、活動を後押しいたします。その審査会を12月～1月頃に開催する予定です。3名の委員で構成する予定です。

7ページをご覧ください。男女共同参画市民セミナーですが、今年度からダイバーシティセンター啓発事業に統合いたしますので、ダイバーシティセンター啓発事業をご覧ください。今年度の市としての重点施策である女性活躍関連事業です。下の方の表をご覧ください。

さい。新たに、男性向け家事・育児参画支援事業「パパスクール」、女性の再就職支援事業「おしごとカフェ」、女性人材育成事業「Ikeda Women's Network」、男性向け家事教室を実施します。パパスクールのコーディネーターとして荒木委員に、家事教室の講師として藤田委員に、ご協力いただきます。Ikeda Women's Networkにつきましては女性人材育成事業として3か年実施する予定で、何かにチャレンジしたいと考えている女性が、思いをカタチにするために必要な知識とスキルを身につけるためのプログラムです。審査会の部分で先に少しご説明いたしましたが、本プログラムの参加者が策定したチャレンジ計画の中から審査をし、2名以内の方にチャレンジ支援金を交付します。本プログラム・チャレンジ支援金ともに3か年での実施を想定しており、その後は、反響を鑑みながら検討いたします。

事業計画の一覧表につきましては9ページに掲載しておりますのでご参照ください。以上、説明を終わります。

(会長)

説明が終わりました。ご意見・ご質問はございますか。

(委員)

ダイバーシティセンター啓発事業の「フェムケアって何？」の参加者数が定員の倍以上です。何歳くらいの方が集まったのでしょうか。また、今回も実施すると広報で読みましたが、こんなに集まるとは正直すごいいいました。

(事務局)

参加者はだいたい女性で、60～70代が多かったと思います。講師の方が美容室を経営されていて、そのお客さんがたくさん来られました。意外と男性の方もそのつながりが多く、夫婦で来られたりしています。男性も10人近く来られました。

(委員)

5ページの年度課題別相談件数について、人権文化交流センターでも、人権等の教育相談を月曜日から、金曜日には午後に市役所で行っています。退職した教職員がやっており相談が多いと人権擁護委員が話していました。相続問題等は、相談員が元々教職関係でわからないので税理士さんをお願いしているそうです。これらの人権相談等の件数は、こちらに入っていますか。また、専門機関に相談があった時はすぐに連携をとっているのでしょうか。

(事務局)

人権文化交流センターの人権相談は、ここの件数には入っていません。人権相談と総合

生活相談にそれぞれ分かれており、人権相談は人権担当で集計しています。人権相談の中で、令和5年度のDVに関する相談は0件だと聞いています。基本的に相談だけで解決することはないので、関係機関でお話を聞いた上で適切な機関につなぐことが重要です。女性相談、DV相談、人権相談等に関係なく、情報はできるだけ共有しています。

(委員)

ダイバーシティセンター啓発事業に、定員を超える参加者が来ていますので、ニーズを掴んで事業をされているのだと思いました。

それぞれの事業の下に計画のどの部分にあたるか記載がありましたが、意見を反映していただいております。どういう所に注力されているかチェックしてみると、例えば男女が協力して取り組むまちづくり推進に関する事業は1件、就労の場の男女平等と仕事と私生活の充実の実現は2件しかありませんが、これは恐らく人権・文化国際課担当の事業の報告と理解してよいのでしょうか。これについて我々が何か意見するというのでしょうか。11月頃に推進状況の報告書をいただきましたが、こちらが網羅的な内容になっています。この審議会では人権の部分だけ意見させていただくということでしょうか。全般的な意見を言う場であれば、会議のタイミングが変わってくるのかと思います。気に入りました。報告は、事業が体系に基づく書き方だとよりわかりやすいと思います。意見をさせていただく内容が人権・文化国際課の部分だけでいいのかというところをお伺いしたいです。

(事務局)

議題として挙げている事業報告は、人権・文化国際課の啓発事業の報告にはなっていますが、審議会は男女共同参画全般に関する審議ですので、忌憚なく推進状況報告書等の内容についてもご質問していただいて大丈夫です。

(委員)

男女共同参画啓発パンフレットについて「市内公共施設で配布」となっていますが、「ふたりの家事シェア」という内容なら、もっと若い子、子どもたちから問題定義するほうが家庭での気づきを多く与えられると思います。実際に家事をしている子育て世帯が多く含まれていることから、家庭から親御さんに見せていく方がより効果的だと思うので、次回そういうことも検討していただければと思います。

(会長)

どこに配布するのかということですね。また検討していただきたいと思います。

(委員)

令和6年度の男女共同参画推進本部会議が6月3日に開催されています。毎年1、2回の、市長を交えた役所全体の推進本部会議だと思いますが、具体的な内容はどうか。市長から今年度の方向性等のお話はありましたか。

(事務局)

推進本部会議の参加者は、市役所の全部長と、特別職、市長、副市長、病院管理者、水道管理者、教育長です。毎年開催しており、事務局が報告し意見がなければ終わりという流れでしたが、今年度は市長の意向で研修スタイルにしました。関西経済同友会で活躍されている上田さんをお呼びし、幹部職員向けに女性活躍の推進について考えるため、市役所で誰もがいきいきと働ける職場づくりについて考えるということで、ワークショップ形式で研修を行いました。会議では、人権・文化国際課の事業や審議会登用について報告しましたが、意見はありませんでした。市長の指示として幹部職員が全員男性であり、若い人は意識が変わってきているが、幹部職員についてはまだまだ立ち止まって考えて欲しい部分があるということでしたので、研修スタイルは来年度も行っていくと思います。

(委員)

そのほうがいいですね。

(会長)

セミナー形式は啓発につながるので、これからもお願いします。

他にご意見等ないようでしたら、次に議題③の委員会・審議会等への女性の参画状況について事務局より説明してください。

(事務局)

それでは、委員会・審議会等への女性の参画状況についてご報告いたします。10ページから12ページの表につきましては、前年度の割合を並列で記載し、比較して対前年度での増減を記載しています。前年度からの減少している機関は↓を、増加している機関は↑を%数値の横に記載しております。また、女性登用率が50%以上の機関と女性の委員ゼロの機関については、「女性の割合」の部分に網掛けにしておりましたが、印刷の関係で反映されておられません。申し訳ございません。

それでは、参画状況の一覧表と併せて、13・14ページをご覧ください。13ページ1番の表になりますが、全体としての結果は芳しくなく、行政委員会と附属機関をあわせた参画率は、27.0%で、昨年度より0.7%低くなっております。女性委員のいない附属機関等は、行政委員会と附属機関では69機関中14機関あります。前年度の結果と比較すると、女性が0の機関数は変わりませんが、全体の機関数が減っているため、女性0

の機関数の割合が高くなっています。２番Ａの表にある、附属機関に類するものを含むと、９２機関中、女性０の機関が１７機関となり、前年度と比べると、全体の機関数は減り０機関数は増えています。また、２番の表ＢとＣをみると、５０％以上の期間は割合的に減少し、３０％を下回る機関は割合的に増加しております。機関ごとにみましても、全体的に女性の登用率がさがっていることが分かります。

１４ページをご覧ください。新たに女性委員が０になってしまった機関が５機関、逆に、女性委員がいなかったが新たに女性委員が就任した機関が３機関あります。新たに女性委員が就任した３機関のうち、２機関は当課からの働きかけにより積極的に改善していただいた機関であり、０機関の数が増えてはいるものの、改善されている機関もみられます。また、定員が少ない機関において、女性委員が１名でも減少すると女性の登用率が大きく低下することになりますが、今回調査ではそれに該当する機関が複数あり、全体として割合が低下した要因のひとつかと思われます。改善している機関があるものの、女性委員が０の機関が増加し、全体としての女性登用率が下がっているため、改善する機関数が、女性委員の割合が減少する機関数を上回るように、継続して働きかける必要があります。

また、昨年度と同様に各機関を所管する部署へ女性委員が０の理由や事情をヒアリングし、改善の余地がある機関については次回の選任時に女性委員の登用に努めるよう依頼しました。回答につきましては、資料の１５ページをご覧ください。新たに０機関となった機関につきましては、機関名に網掛けをしておりましたが、こちらも印刷の関係で反映されておられません。昨年と機関が大きく変わっておらず、事情は昨年度と同様ですが、機関によって、性質上、特定の職にある方を選任することや、その機関に適した学識経験をもつ人材の女性の母数自体が少なく、要件を満たす女性を見つけられない、などの事情が主な理由となっているようです。

また、１３ページの推移表の下に女性登用率５０％を超える１３機関を掲載しております。毎回申し上げていることとなりますが、主に子育て・教育に関わる附属機関が主となっており、それら機関の委員にも保育関係や教育関係の職種の方が委員になっている場合も多いと聞きますので、これらのことから管理職の女性比率の低さや、職種による男女の偏りも影響しているかと思われます。役職や職種による男女の偏りを無くしていくことも重要であり、時間がかかる問題であると思いますが、まずは、女性を積極的に起用するように、各機関への積極的な働きかけを継続していき、女性委員がいらない又は少ないことに対する問題意識をもっていただくよう声掛けを続けてまいりたいと思います。

女性登用率４０％、女性のいない審議会等を０にすることを目標としておりますので、引き続き各機関を所管する部署へ積極的な女性の登用を啓発してまいります。

また、第２次計画であげられている他の指標についても簡単にご報告いたします。参考として資料を配布しておりますので、１８・１９ページをご覧ください。市職員のうち課長級以上の女性の割合は１３.９％となっており、目標値の２０％を満たしていません。

しかし、主幹級の女性の割合をみると、36.6%となっており、目標値の33%を超えています。この方たちが昇格していくことを考えると、今後課長級以上の女性の割合が増えていくことが期待されます。

また、男性職員の育児参加休暇の取得率につきましては66.7%となっています。第2次計画の目標値は60%のため、目標値を上回っています。以上でご報告を終わります。

(会長)

毎回同じような委員会が女性0になっています。あて職なのかどうか分かりませんが、女性が減ってきていることは問題だと思います。何かご意見、ご質問ございますか。

(委員)

今日の新聞の見出しに、防災や危機管理への女性の登用率が自治体で大変低いという記事が多く出ていました。確かに、24時間体制を組まないといけないとか自治体に要求される課題があり、女性保護の点でも難しいとは思いますが、できるだけ24時間でなくても働き続けられるような自治体のシステムを考えていくことが大事だと思います。委員登用でも池田市自主防災連絡協議会は全委員43名のうち2名しか女性が入っていません。防災組織を実際に動かす時に、女性の視点が高齢者や子どもたちに必要なことは災害のたびに指摘されてきたことですので、防災等の組織づくりには、せめて女性を3～4割入れていくことが大事だと思います。この観点を自主防災連絡協議会に対して啓発していただければありがたいです。

また、例えば選挙管理委員とか監査委員は議会の議決や承認がいるなかで、それが女性0というのは、男女平等と言いながら議員さんはどのように考えているのでしょうか。言いにくいとは思いますが、議会のあり方として、もっと女性の視点を入れていくことが大事だと議会に認識してもらえそうな研修や働きかけが必要です。

(委員)

市職員の男性の育児参加休職の取得率が目標を達成していますが、取得日数は把握していますか。

(事務局)

育児参加休暇日数はわかりませんが、育児休業日数は把握しています。

(委員)

1日の取得でも取得率として割合があがるというのは企業でもそうなのですが、1日の取得では、休職・休暇とは到底言えるものではないので、中身を把握できるようにしっか

り詰めて、育児活動ができる機関として取得できるよう啓発活動をしっかりして欲しいと思います。

(委員)

令和6年度の市内小学校の管理職で女性校長が4人となり、昔は男性が多かったのですが、だいぶ変わってきました。教頭を入れると、神田と五月丘が教頭も校長も女性であると聞いています。一方、12ページの池田市進路保障協議会は相変わらず旧体制で、生活指導や進路担当の先生は男性が多く16分の1であり、女性が1人しか入っていません。子どもたちの進路は男女とも多様化しているので、そのあたりは教育委員会の中で検討していただきたいです。また、学校給食運営委員会監査委員が0機関として挙がっていましたが、女性の先生や現場の声を聴くことも今後大事になってくるかと思います。学校の方では、今年は女性の校長先生が多いなと感じていたのも、ご意見させていただきました。

(会長)

教育現場でも、小学校は校長、教頭に女性が増えてきましたが、中学、高校になると減っていきます。教育現場は非常に忙しいことは確かですが、女性が上に立って仕事漬けにならないように、もう少し効率的に仕事ができるようになればいいと思います。小学校の校長先生で女性が増えていることはいいことだと思いますが、小学校より上の学校でも、もっと増えて欲しいです。

女性0の委員会を無くすのと、防災関係に女性の視点が必要なので、もっと増やして欲しいです。

他にご意見等ないようでしたら、次に議題④の計画策定検討部会について事務局より説明してください

(事務局)

まず、計画策定のスケジュールについてご説明いたします。資料の16ページをご覧ください。

今年度は、第3次池田市男女共同参画推進計画を策定いたします。7月より順次、現行施策の評価分析、庁内関係課へのヒアリング、計画骨子案・計画素案の作成、目標数値の設定を進めてまいります。来年1月にパブリックコメントを実施し、3月中に計画が完成する予定です。本審議会と別に、計画策定検討部会を開催し、検討した内容を審議会にてご審議いただく流れで進めたいと思っております。計画策定検討部会は、7月・9月・12月に開催予定です。審議会はあと2回、10月と来年2月頃に開催予定です。

次に、計画策定検討部会についてです。検討部会は4名の委員で構成します。こちらの4名ですが、事務局のほうから推薦させていただきたいと思っております。有澤会長、山本副会長、藤田委員、西村委員にお願いしたいと思っております。異議ございますでしょうか。

異議がないようですので、有澤会長、山本副会長、藤田委員、西村委員にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

また、計画策定の委託業者につきまして、4月に入札を行い、地域社会研究所さんをお願いすることになりましたので、ご紹介いたします。

—地域社会研究所から自己紹介—

委員の皆さまにおかれましては、今後の審議会で、計画の内容の確認のほか、進捗のご報告をさせていただきますので、都度ご意見等いただきたく思っております。よろしくお願いいたします。

以上で報告を終わらせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

(会長)

ご意見・ご質問・ご要望等ありますか。

4人の委員で検討したことを皆さんに報告し、さらに検討していただき進めていきたいと思えます。意見や要望はありますか。現在の計画の柱を4つ立てましたが、少し検討し直していきたいと思えます。この4つの柱でいいでしょうか。早速7月頃から始め、12月にはちゃんとしたものができるようにがんばります。よろしくお願いいたします。

ご意見等なければ次に移りたいと思えます。事務局より連絡事項等がありましたらお願いいたします。

(事務局)

第2回の開催日は10月ごろを予定しております。日程が近づきましたら事務局の方から日程調整表を送付させていただきますので今回と同様にご返信くださいますようお願い申し上げます。

3. 閉 会

(会長)

ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

それでは、他にご意見等がないようですので、以上をもちまして、令和6年度第1回目の「男女共同参画審議会」を閉会いたします。本日は、大変お忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございました。